

令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	坂バカ集まれ！中山間地を漕いで走って村おこし事業
事業主体 (連絡先)	信州ながわ陣馬形山ヒルクライム実行委員会 (中川村役場振興課)
事業区分	⑥ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	2,909,975円 (うち支援金：805,000円)

事業内容

- ①村内自転車愛好家を中心とした実行委員会組織
- ②ヒルクライムレースを主体としたイベントの開催
- ③サイクリングマップの作成によるレースを起爆剤とした自転車観光の開発。
- ④抽選会を開催し、村内農産物を参加者へ提供
- ⑤サイクルラックの作成により、村内周遊拠点の整備
- ⑥沿道の協力など中山間地域の活性化を促す。

事業効果

- ①昨年に引き続き 11 回の実行委員会の開催。
- ②参加申込み 220 人中 200 人が出走。
- ③出走者や観覧者へのマップ配布により、村の観光の目玉としてのサイクリング適地を印象づけた。
- ④村内から農産物の提供を受け、抽選会で参加者に提供する事で、農産物のブランド化を図った。
- ⑤村内の飲食店や商店、観光施設にサイクルラックを設置し、自転車による周遊型の観光振興に寄与した。
- ⑥沿道には子どもからお年寄りまで、地域の方々が多くの声援を送った。初めて見る自転車レースに驚きながらも、地域の元気を実感できるイベントとなった。

今後の取り組み

- ①実行委員会としても次回開催に向けて早々より協議を始め、前回計画以上の内容を企画していく。
- ②村内大会ボランティアを募り、村民全員が盛り上げていくような大会を目指す。
- ③ヒルクライムレースに関連する自転車イベントの企画として、村内で開催しているシクロクロスレースなどのコラボレーションを行い、年間を通じて自転車で村を活性化させていく。
- ④サイクルラックを設置した村内宿泊施設、飲食店などと協働し、自転車で立ち寄れる施設としてアピールするイベントを開催したい。
- ⑤村内の子どもたちが自転車に関心を寄せてもらう取り組みとして、レースのジュニアクラスの充実を図る。



【ゴール山頂集合写真】

【目標・ねらい】

- ①自転車を核とした中山間地の活性化
- ②自転車周遊に訪れる人の増加
- ③村民の自転車に対する意識の高揚を図り、継続的な自転車文化の創造を図る。

※自己評価【 A 】

【理由】

参加募集定員 200 人に達したことで、実質 1 回目のイベントに対する期待は十分に有り、それに応えるだけのイベントとすることができた。

村内からの農産物の提供には多くの物品が集まり、また、スタッフも総勢 150 人と多くの関心と期待が寄せられた。

今回のイベントをスタートとして、自転車による地域活性化、中山間地の元気回復が益々向上していくことが見込まれる。